

山口大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

当院では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、以下の問合せ先までお申出ください。

その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

① 研究課題名	ヒト子宮内膜の分化機構とその異常の解析		
② 実施予定期間	2014年11月26日～2022年3月31日		
③ 対象患者	1) 研究課題「ヒト脱落膜における superoxide dismutase の発現調節とその意義」に参加し検体を提供した患者さん。 2) 山口大学附属病院および研究グループ施設（別添参照）において、手術によって病理組織診断用に子宮組織を採取された患者さん。 3) 「ヒト子宮内膜の分化機構とその異常の解析」の研究に参加された患者さん		
④ 対象期間	1)と2)の対象期間 2009年1月1日～2016年3月31日 3)の対象期間 2014年11月26日～2021年3月31日		
⑤ 研究機関の名称	別添参照		
⑥ 対象診療科	産科婦人科		
⑦ 研究責任者	氏名	田村 博史	所属 産科婦人科
⑧ 使用する試料・情報等	摘出された子宮内膜細胞、入院、外来カルテ記載からID、月経周期（最終月経日、子宮内膜の状態）、血中女性ホルモン量（エストロゲン、プロゲステロン〈保険適応〉）、年齢、これまでに受けられた治療を調べます。 なお、研究グループより提供される子宮組織切片試料についても上記と同様の情報を使用することがあります。		
⑨ 研究の概要	上記対象患者さんより得られた子宮内膜細胞を使用し、子宮内膜の分化や内膜症の異常を伴う疾患のメカニズムを分子レベル・遺伝子レベルで解明することを目的とします。本研究により得られた知見が、着床現象の解明や子宮内膜異常に関わる疾患や不妊症などに対する新たな治療法の開発につながることを期待されます。研究参加施設で収集した検体と情報は山口大学に集められ、解析が行われます。 また、収集した検体から培養された細胞を近畿大学に提供し、解析を行います。		
⑩ 倫理審査	倫理審査委員会承認日	2019年10月23日	
⑪ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。 詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。		
⑫ 結果の公表	学会や論文等で公表します。		

⑬ 個人情報の保護	結果を公表する場合、個人が特定されることはありません。		
⑭ 知的財産権	研究グループに帰属します。		
⑮ 研究の資金源	山口大学医学部附属病院産科婦人科奨学寄附金および文部科学省科学研究費補助金を用いて実施します。		
⑯ 利益相反	ありません		
⑰ 問い合わせ先・ 相談窓口	山口大学医学部附属病院 産科婦人科 担当者：田村 功		
	電話	0836-22-2289	FAX 0836-22-2287

別添

研究組織

研究代表者：山口大学大学院医学系研究科産科婦人科学講座 田村 博史

研究参加施設と研究責任者

山口大学医学部附属病院：田村 博史

済生会下関総合病院：嶋村 勝典

長門総合病院：服部 守志

山口県立総合医療センター：中村 康彦

徳山中央病院：沼 文隆

小野田市民病院：住浪 義則

小郡第一病院：成松 昭夫

近畿大学生物理工学部遺伝子工学科 宮本 圭